

現行システムの概要

1. 三重県電子調達システム（公共調達・物件調達）

以下にそれぞれの概要を整理するとともに、図 1、2 に各サブシステムの関係について示す。

(1) サブシステム

三重県電子調達システム（公共調達・物件調達）は、「電子入札システム（公共調達）」、「電子入札システム（物件調達）」「入札情報サービスシステム」のサブシステムで構成される。

1) 電子入札システム（公共調達）

工事、委託に関する入開札及び入札に関わる通知等の各種手続きを電子的に実現するものである。

現行システムは、一般財団法人日本建設情報総合センターと一般財団法人港湾空港建設技術サービスセンターが開発した「電子入札コアシステム」をカスタマイズしたものである。

2) 電子入札システム（物件調達）

物品・役務に関する入開札及び入札に関わる通知等の各種手続きを電子的に実現するものである。

現行システムは、サービス提供事業者が提供する物品見積システム、及び一般財団法人日本建設情報総合センターと一般財団法人港湾空港建設技術サービスセンターが開発した「電子入札コアシステム」をカスタマイズしたものである。

3) 入札情報サービスシステム

工事、委託、物品・役務に関する入札関連情報の受注者及び県民への公開を電子的に実現するものである。

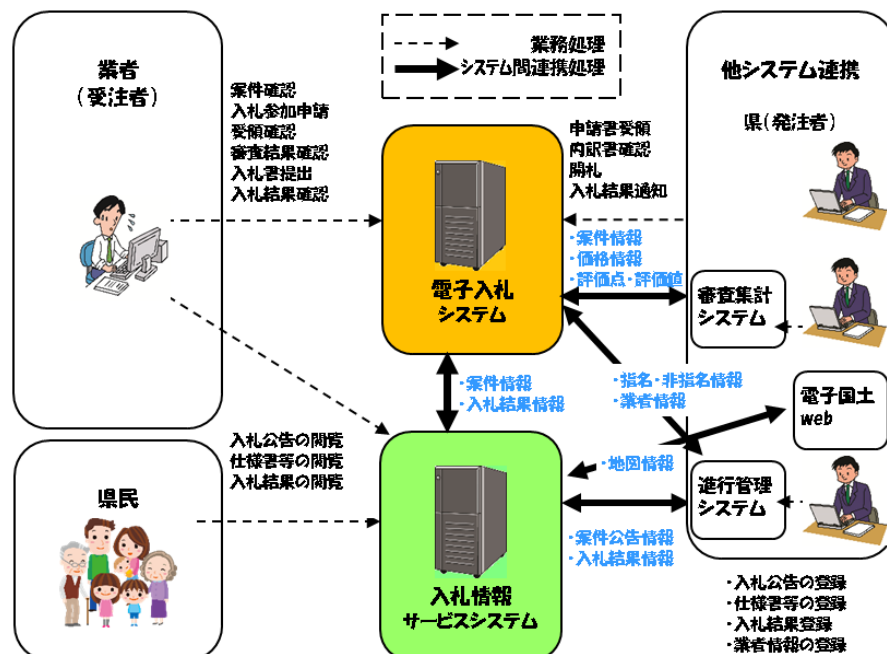


図 1 三重県電子調達システム（公共調達） システム構成概念図

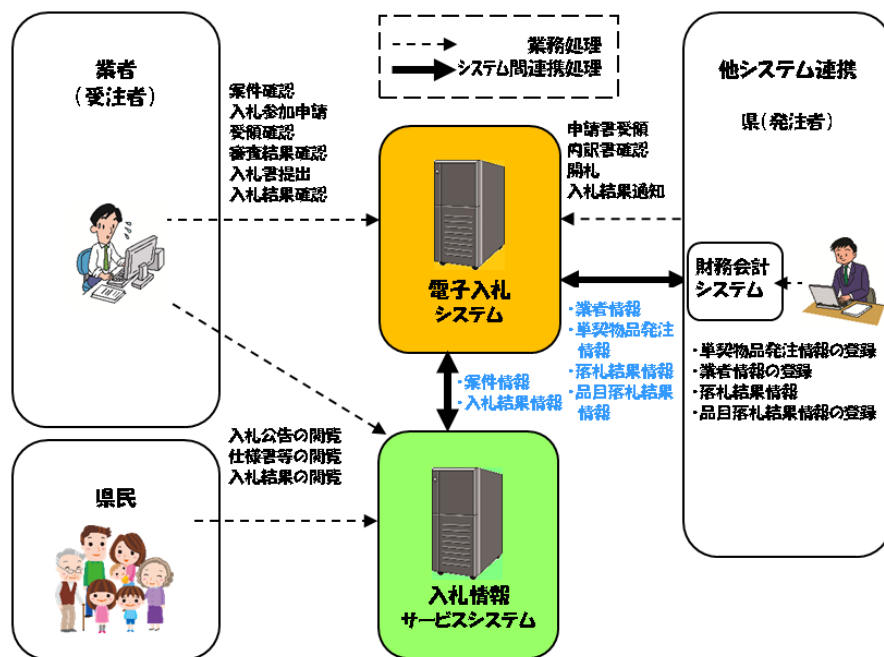


図 2 三重県電子調達システム（物件調達） システム構成概念図

(2) 連携システムの概要

【連携対象システム】

- 公共事業進行管理システム
- 電子国土 web
- 総合評価方式審査集計システム
- 財務会計システム

1) 公共工事進行管理システム

進行管理システムは、三重県電子調達システム（公共調達）とデータ連携し、案件公告情報、制限価格情報、指名・非指名情報、業者情報、入札結果情報等を提供している。

① 連携手段

連携手段として、進行管理システムのインタフェースサーバを通じて HTTPS 通信によるデータ連携を行っている。連携データの形式は、ZIP（暗号化）形式である。

② 連携時間

連携のタイミングとして、進行管理システムから電子入札システムへの連携は、5 分間隔（⑧業者連携以外）、又は 60 分間隔（⑧業者連携）で行い、進行管理システムから入札情報サービスシステムへの連携は、5 分間隔で行っている。

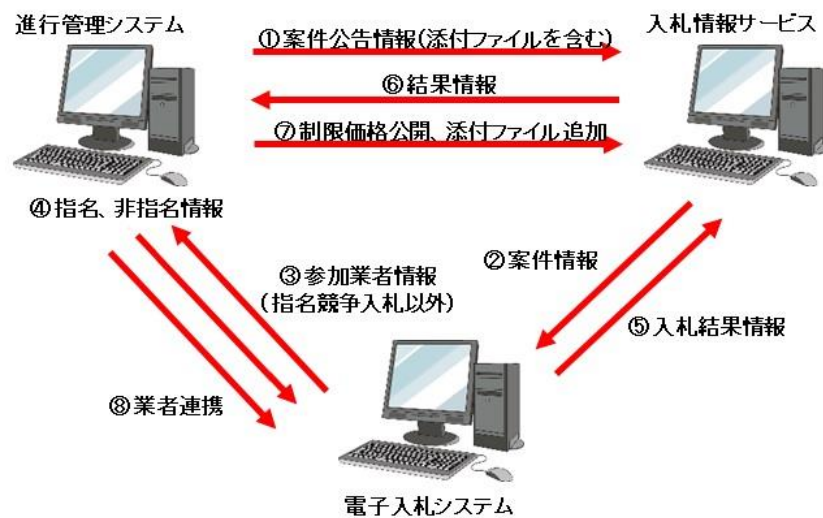


図 3 公共工事進行管理システムとの連携内容

2) 電子国土Web

入札情報サービスシステムから電子国土 web に対して、履行場所等の位置情報の連携を行っている。

① 連携手段

入札情報サービスシステムより電子国土 web のサイトへURL形式で参照している。

② 連携時間

連携のタイミングとしては、随時（参照タイミング）で連携を行っている。



図 4 電子国土 web との連携内容

3) 総合評価方式審査集計システム

総合評価方式審査集計システムは、総合評価方式による入札案件に適用され、総合評価点（技術評価点＋価格評価点）、評価値を算出し入札結果を判定するものである。判定結果は CSV 形式にて出力し、電子入札システム（公共調達）に連携する。

① 連携手段

連携手段として、電子入札システム（公共調達）から「案件情報」（案件番号、工事名、発注者名、入札参加者等）を CSV 形式にて出力したものを、総合評価方式審査集計システム（EXCEL ファイル）に連携させ、技術評価点を入力。

入札後は、電子入札システム（公共調達）から「価格情報」を CSV 形式にて出力したものを、総合評価方式審査集計システムに連携する。

総合評価方式審査集計システムにて集約された「結果情報」を電子入札システム（公共調達）に連携し、入札結果調書の作成となる。

② 連携時間

連携のタイミングとしては、随時（作業時）の連携を行っている。

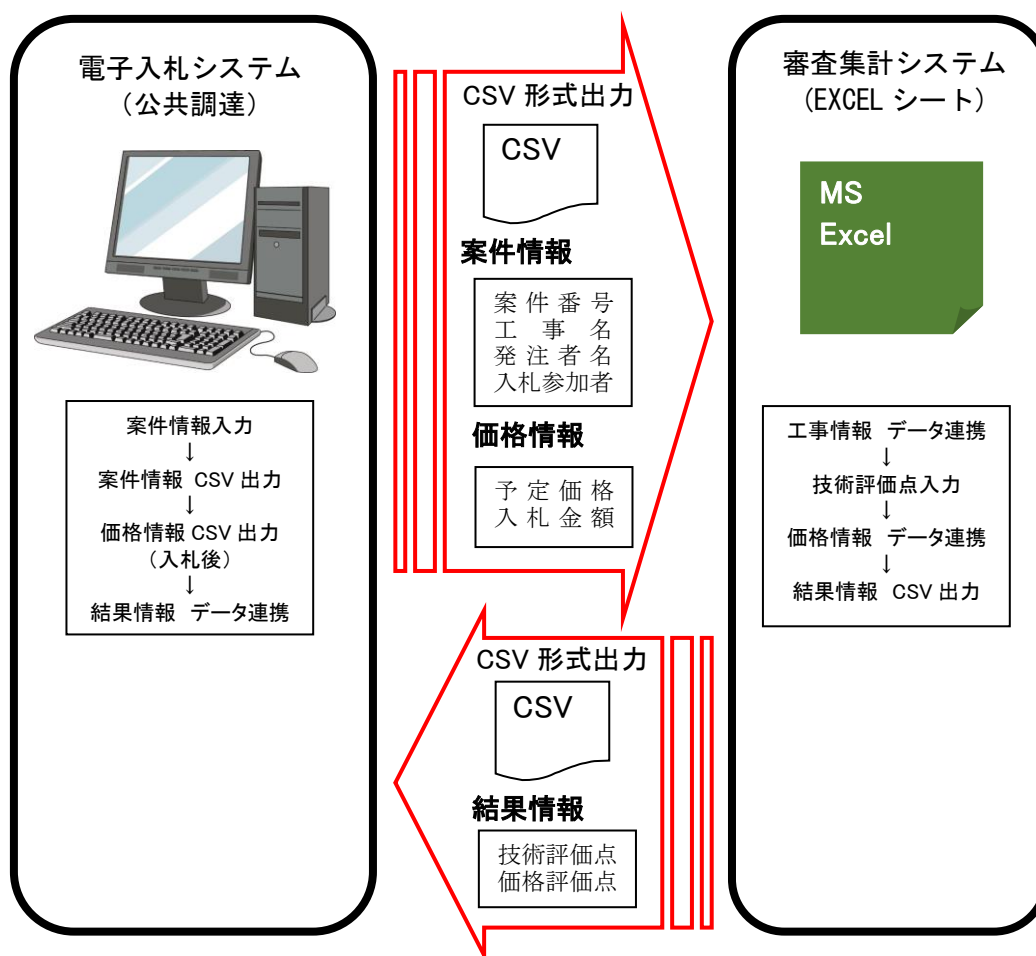


図 2 審査集計システムとの連携内容

4) 財務会計システム

財務会計システムは、三重県電子調達システム（物件調達）とデータ連携し、業者情報、単契物品発注情報、落札結果情報、品目落札情報等を取り取りしている。

① 連携手段

連携手段として、財務会計システムの連携サーバを通じて HTTPS 通信によるデータ連携を行っている。連携データの形式は CSV 形式である。

② 連携時間

連携のタイミングとして、財務会計システムと三重県電子調達システム（物件調達）との連携は、15 分間隔（業者情報以外）、又は 1 日間隔（業者情報）で行っている。

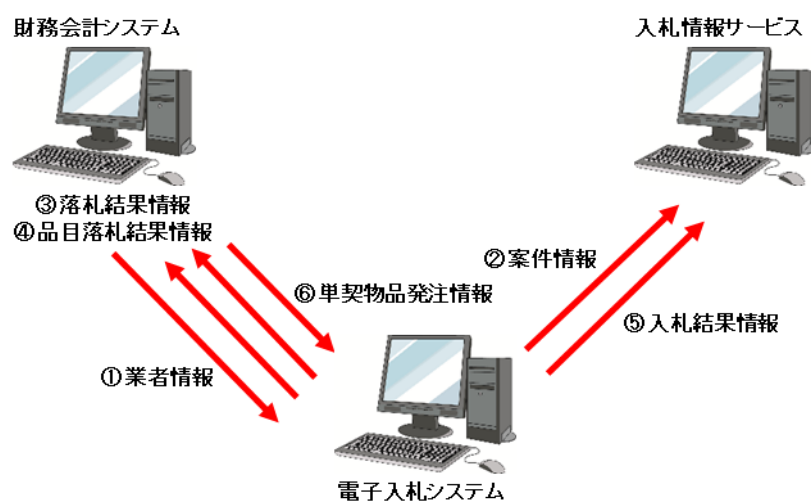


図 6 財務会計システムとの連携内容

2. 全体概要整理

三重県電子調達システム（公共調達・物件調達）の全体概要を図 8 及び表 1 に示す。

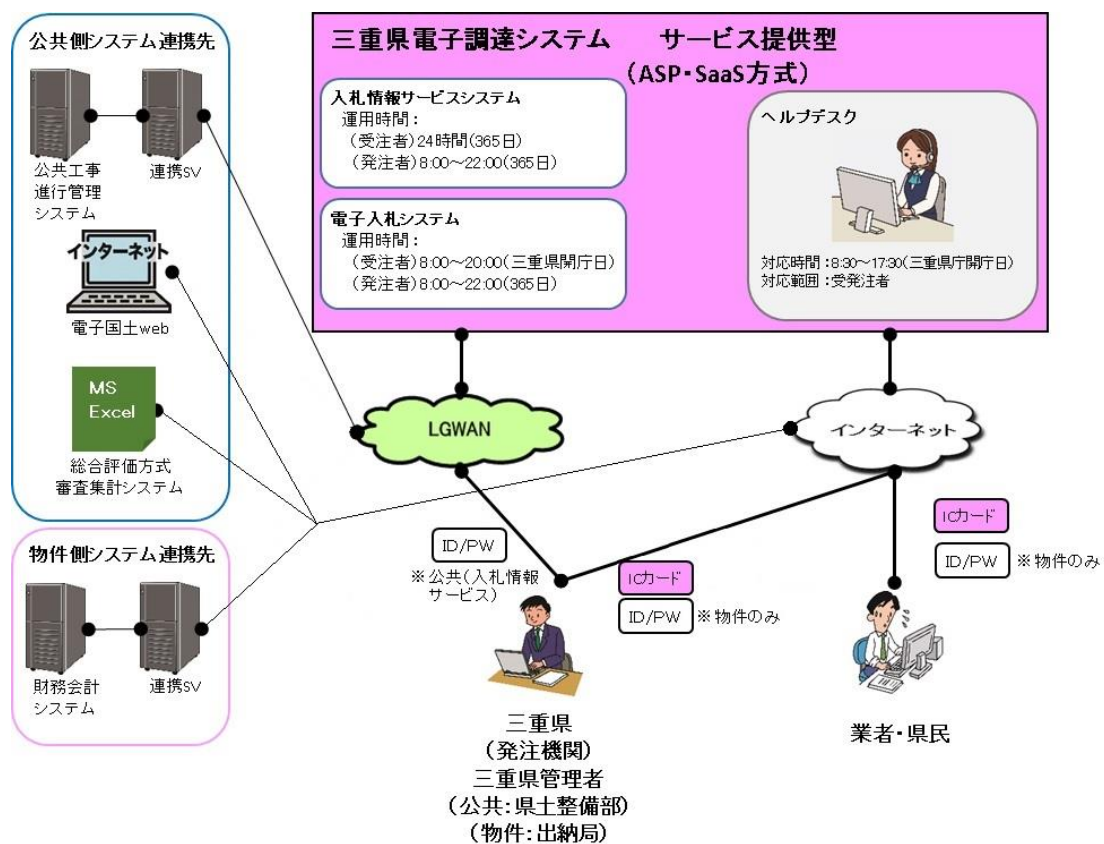


図 8 全体概要

表 1 三重県電子調達システム（公共調達・物件調達）の概要

項目		公共調達システム	物件調達システム
運用期間	自	2020 年 4 月 1 日	2020 年 4 月 1 日
	至	2026 年 9 月末から 2027 年 1 月早々 今回の情報提供により検討する。	2026 年 9 月末から 2027 年 1 月早々 今回の情報提供により検討する。
概要	システム方式	ASP 方式（クラウドサービス）	
	基本プログラム	電子入札コアシステム バージョン 6.0 R4	物品見積システム 電子入札コアシステム バージョン 6.0 R4
入札件数		電子入札・入札情報サービス ： 4,000 件／年程度	電子入札・入札情報サービス ： 7,000 件／年程度
三重県の持つ著作権		あり	あり
	著作権の範囲	新規に作成された成果物の著作権は、三重県と ASP 事業者で共用。ただし、ASP 事業者が単独で行った発明等から生じた特許権等については ASP 事業者に帰属。	新規に作成された成果物の著作権は、三重県と ASP 事業者で共用。ただし、ASP 事業者が単独で行った発明等から生じた特許権等については ASP 事業者に帰属。
他システムとの連携		①公共工事進行管理システム 【連携方式】 LGWAN を利用し、ZIP（PW 付き）形式で連携 ②総合評価方式審査集計システム 【連携方式】 CSV 形式で連携 ③電子国土 web 【連携方式】 URL 形式で連携	①財務会計システム 【連携方式】 LGWAN を利用し、CSV 形式で連携
入札方式	現在対応できる入札方式	・ 一般競争入札 ・ 指名競争入札 ・ 総合評価方式一般競争入札 ・ 総合評価方式指名競争入札 ・ 随意契約 ・ プロポーザル	・ 一般競争入札・最低価格 ・ 一般競争入札・最高価格（売払・貸付） ・ 一般競争入札・総合評価 ・ 随意契約方式・最低（オープンカウンタ） ・ 随意契約方式・単価契約・品目別（オープンカウンタ） ・ 随意契約方式・最高価格（売払・貸付）（オープンカウンタ）
運用時間	入札情報サービス	（受注者） 24 時間 365 日 （発注者） 8:00～22:00 なし	
	電子入札	（受注者） 平日 8:00～20:00 （発注者） 8:00～22:00	
	操作ヘルプデスク	外部に設置 （受発注者） 平日 8:30～17:30	

項目	公共調達システム	物件調達システム
認証方法	電子入札システム (受発注者) IC カード 入札情報サービス (管理者・発注者) ID・パスワード方式	電子入札システム (受発注者) IC カード ID・パスワード方式
操作権限 (システムの入口で制御)	・ 工事 (業務委託含む) ・ 測量設計委託	・ 物品、役務 ・ 少額物品、少額役務

3. 次期システム全体概要整理

次期三重県電子調達システム（公共調達・物件調達）はアクセス先や連携先が変更となる。全体概要を図9及に示す。

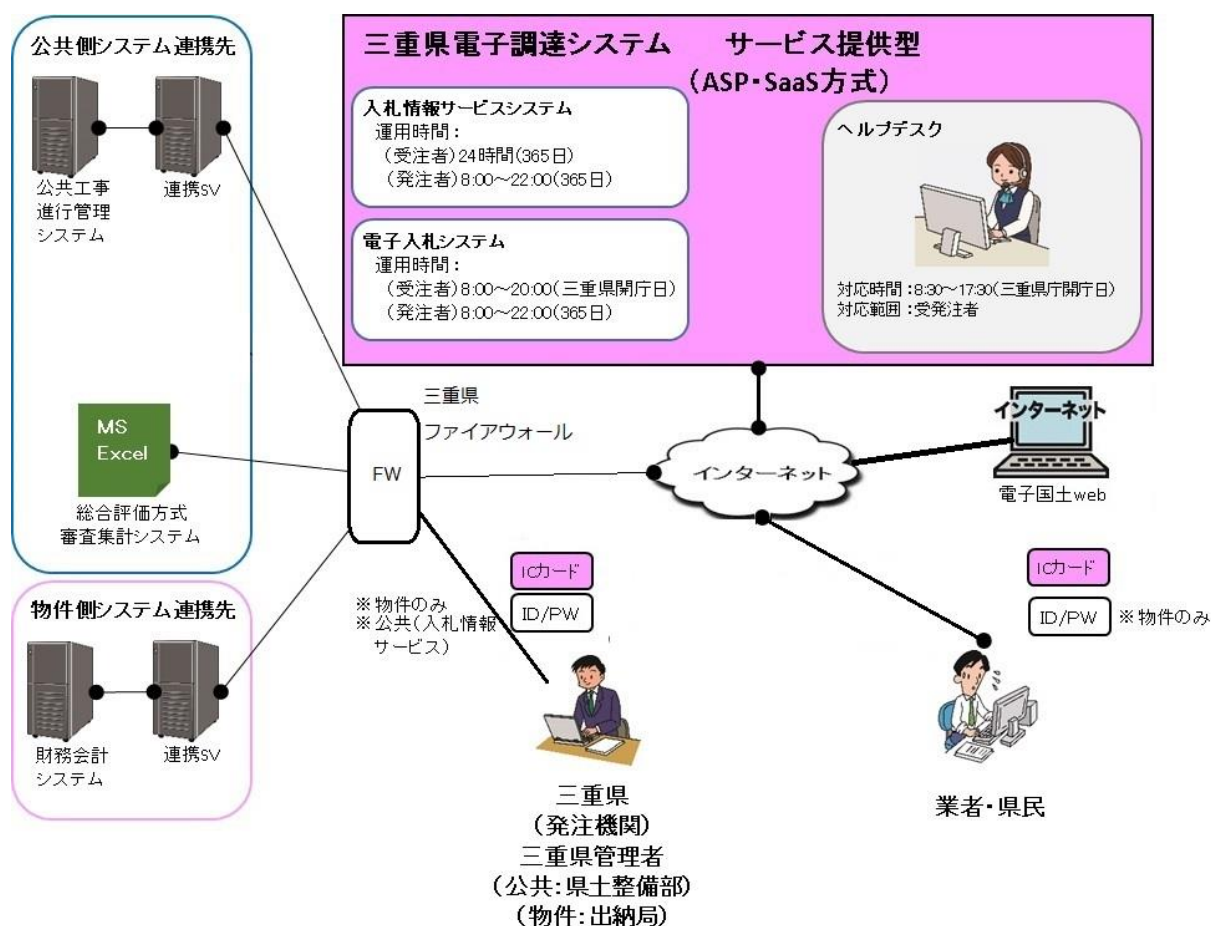


図9 次期システム全体概要